

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和スポーツセンター、草柳庭球場、桜森スポーツ広場、下福田野球場、 下福田スポーツ広場
指定管理者	公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の管理運営に関する主な業務実施状況

(1) 窓口業務

- ①施設保険の受付：なし
- ②苦情、要望等への対応：苦情・要望 44 件

(2) スケジュール管理業務

- ①スケジュール会議の開催：屋外施設 1/24(水)、屋内施設 1/25(木)
- ②施設予約の抽選： 4/1(金) 5/1(日) 6/1(水) 7/1(金) 8/1(月) 9/1(木)
10/1(土) 11/1(火) 12/1(木) 1/1(日) 2/1(水) 3/1(水)

(3) 経理業務

- ①利用料金の収入・還付実績の作成
- ②収支決算書の作成

(4) 報告、統計業務

- ①建物健康診断報告書：11/28(月)提出
- ②消防設備報告書：2/21(火)提出
- ③月報：前月分の状況を毎月 15 日までに提出

(5) 情報提供業務

- ①ホームページの管理運営：財団情報サイト「やまとナビ」日々更新
- ②情報誌の作成：財団情報誌「とりころーる大和」隔月発行
- ③新聞、雑誌等の提供：新聞 2 紙、雑誌 7 冊

(6) その他の業務（日常業務）

- ①大和スポーツセンター清掃の日：5/26(木) 11/28(月)
- ②大和スポーツセンター消防訓練：7/13(水) 12/15(木)
- ③ドクターヘリの対応：なし
- ④救急車の要請：21 件
- ⑤盗難、事故等の対応：盗難 1 件（現場対応、警察への通報、事後対応）
- ⑥補修業務：70 件（施設、器具等の修理など）

(7) 委託業務実施状況

施設名	業務内容	回数等
大和スポーツセンター 体育会館	日常清掃業務	年間
	設備管理業務	年間
	警備業務	年間
	床面定期清掃業務	月 1 回
	窓ガラス清掃業務	年 2 回
	衛生害虫駆除	年 2 回
	貯水槽清掃業務	年 1 回
	給水ポンプ点検	年 1 回
	水質検査 (10 項目)	年 1 回
	水質検査 (15 項目)	年 1 回
	冷温水発生器保守点検	年 3 回
	AHU	年 3 回
	F C U	年 3 回
	フィルター除塵装置清掃	年 3 回
	送排風機点検	年 3 回
	空調用ポンプ点検	年 3 回
	圧力容器点検	年 1 回
	給湯設備保守点検	年 1 回
	消防設備保守点検 (体育会館・競技場)	年 2 回
	競技表示システム保守点検業務	年 1 回
	体育器具保守点検業務 (トレーニング機器)	月 1 回
	体育器具保守点検業務 (体育器具)	年 1 回
	夜間警備業務 (体育会館・みなみ風)	年間
	自動ドア保守点検業務	年 3 回
	トイレ消臭設備等保守点検業務	年 6 回
	放送設備保守点検業務	年 2 回
	移動観覧席保守点検業務	年 1 回
	エレベータ保守点検業務	月 1 回
	トレーニング室カーペット清掃業務	年 1 回
	空調自動制御設備保守点検業務	年 1 回
資源分別回収運搬処分業務	月 1 回	
みなみ風冷蔵機器保守点検業務	年 3 回	

大和スポーツセンター 競技場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
	夜間警備業務	年間
	芝生維持管理業務	年間
	機器保守点検	年 1 回
	樹木剪定業務	年 2 回
大和スポーツセンター プール	管理業務	夏季
	受水槽、プール及びピット清掃業務	年 1 回
	濾過装置保守点検業務	年数回
草柳庭球場	管理業務	年間
	夜間管理業務	年間
桜森スポーツ広場	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田野球場	トイレ清掃業務	随時
	グラウンド整備業務	年 1 回
下福田スポーツ広場	芝生維持管理業務	年間
	浄化槽清掃、保守点検	年 6 回
	グラウンド整備業務	年 1 回

●施設利用状況

年間利用者数（平成 28 年度）

施設名	利用者数
スポーツセンター体育会館 ※2F～5F は平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで閉場	244,186 人
スポーツセンター競技場	133,940 人
スポーツセンタープール	4,970 人
草柳庭球場	56,682 人
下福田野球場	13,641 人
桜森スポーツ広場	12,553 人
下福田スポーツ広場	19,559 人
合 計	485,531 人

【事業実施状況に関する補足説明】

- ・スポーツセンター体育会館空調等工事に伴う施設休場、競技場排水工事に伴い駐車場スペースの制約が生じた中で、利用者への周知により、工事による混乱を生じさせないような管理業務を図りました。
- ・スポーツセンタートレーニング室においては、平成 28 年 4 月から 6 月の武道棟空調改修工事で利用できない期間にマシンの更新を行い、体組成計も新たに導入し、大幅にリニューアルし

てより快適な施設環境の整備を行いました。

- ・スポーツを「みる」側面については、スポーツセンター競技場では良好なピッチを維持するため芝生管理作業に努め、女子サッカー公式戦が全日程において滞ることなく開催されました。また、バレーボール協会との調整により第1体育室で開催されたバレーボールVリーグチャレンジマッチも「みる」スポーツとしての側面を持っています。
- ・より快適な利用環境を提供できるよう、施設利用者アンケートを年2回実施し、アンケート結果については館内への掲示及びホームページ上に公表するとともに、利用者との会話の中から引き出せる声を、財団ホームページ内の「ご利用者の声」として公表し、開かれた運営を進めました。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	188,000,000	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料、諸手当、福利厚生等の金額)	51,982,555
利用料 (条例に基づき、利用者が指定管理者に支払った利用料金)	49,284,100	施設管理費 (施設の清掃や保守点検、修繕等に支出した金額)	187,842,363
その他 (出店料、器具等使用料、教室・講習会等参加料ほか)	9,677,493	事業費 (教室や講習会等の事業に支出した金額)	3,760,016
収入計 (①)	246,961,593	支出計 (②)	243,584,934

収支決算	3,376,659
------	-----------

【収支決算に関する補足説明】

- ・利用料金は、下記の工事閉場の影響があるなか、平成28年7月から利用料金の改定を行ったこともあり、昨年度決算額42,151,200円に対し、今年度は、決算額が49,284,100円で7,132,900円の増収となりました。

※工事によるスポーツセンター長期休場

【平成27年度】競技場：平成27年10月1日～平成28年3月31日休場、第1体育室：平成28年1月12日～平成28年3月31日休場

【平成28年度】体育会館2F～5F：平成28年4月1日～平成28年6月30日休場

- ・施設管理費は、施設老朽化に伴う修繕費の増、スポーツセンター体育会館の空調導入などにより、昨年度決算額169,806,734円に対し、今年度決算額が187,842,363円で、18,035,629円の増額となりました。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は、次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 7 月 27 日に大和市スポーツ推進審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービス向上が図られたか
(平等な利用の確保)
・施設の利用許可事務については、書類及び実地調査の結果、条例等に則り適切に行われていることが確認できました。
・受付体制は、1 人が受付に常駐し、混雑時はチャイムを鳴らしての全員対応で、予約・利用許可等が速やかに行われていることが確認できました。
・7 月から利用料金が改定され、市外の個人利用料金が倍額となりましたが、料金改定については、ホームページへの掲載や新たなパンフレットの作成及び配布により適切に周知が図られたこと、また、利用者カードの取り扱いを見直し、市内・市外が判別できるようにするなど適正に対処されていることが確認できました。
(サービス向上)
・施設の管理運営に関する苦情や要望については、苦情・要望等受付表を作成し、内容や対応結果を明確にしています。内容をよく検証し、利用者サービスのより一層の向上につなげていくことを期待します。
・間接的なサービス向上策として、大和市スポーツ・よか・みどり財団の特色を活かし、みなみ風花壇などスポーツセンター敷地内に四季折々の花を植えるなど、例年緑化運動に積極的に取り組み、そのことが利用者満足度の向上に繋がっていることは評価できます。
・トレーニング室において、工事休場期間にマシン更新等の大幅リニューアルを行うとともに、ソフト面のサービス向上として、ミニ教室を職員が行う回数を増やすなどして利用者増を図ったことは、サービス向上の取組として評価できます。
・利用者サービスの一環として平成 25 年 2 月から開始している、バスケットボール、バレーボール、室内シューズのレンタルは、平成 28 年度は 1,275 足の貸出しがあり、利用者から好評を得ており、利用者のサービス向上に繋がる取り組みとして評価できます。
・利用者からの要望等があっても対応するだけでなく、指定管理者として、より積極的なサービス向上に努めることを期待します。
評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
(事業、イベント、施設 P R)
・大和スポーツセンターを中心に、ランニング教室等ニーズを踏まえた各種教室を開催し、同競技場ではフィールド状況を良好に保った状態で女子サッカーの公式戦や各種イベントが実施されました。また、同体育館ではバレーボール V リーグチャレンジマッチが開催されるなど、施設の効用が発揮された事業運営が行われました。
・10 月にお客様感謝 DAY として「スポーツしちゃお！」を開催し、施設の P R を図りました。
・下福田スポーツ広場で比較的利用の少ない平日午前中に、芝生の上で遊べる機会として、キッズパラダイス事業が実施されました。
評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
(通常の維持管理)
・施設の清掃や保守点検等の通常の維持管理は、書類及び実地調査の結果、仕様書等に沿って適切に行われていることが確認できました。
・例年、要望の多いスポーツセンター周辺の剪定について、苦情を受ける前に積極的に実施し、的確に

対応していることが確認できました。

- ・スポーツセンターの体育会館及び競技場に、平成 25 年度から独自に防犯カメラを 5 台設置し、犯罪行為に対する抑止力向上を図っており、安心して施設を利用できる取組として評価できます。
- ・大和スポーツセンター体育会館においては、開館後 29 年が経過し、設備機器の老朽化に伴う不具合箇所の増大により補修業務が増えています。施設利用に影響がないよう適切に補修を実施し、維持管理を図っていたことは評価できます。
- ・施設管理者として、管轄する全てのスポーツ施設において、各施設の状況を把握し、迅速かつ適切な修繕を行うとともに、老朽化や不具合等に対応するための改善計画を作成し、今後も適正な維持管理が行われることを望みます。

評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他経営の規模及び能力を有しているか

(管理者としての資質)

- ・事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有していると評価できます。
- ・セルフモニタリングを行い、PDCA サイクルの検証、類似施設を管理する財団全体での情報共有化、効果的な業務改善活動を行うなど、施設を安定して適切に管理できる組織づくりに積極的に取り組んでいます。
- ・施設利用アンケートを年 2 回実施し、アンケート結果については館内掲示、ホームページ上に公表し、要望に対する対応等を掲載しており、利用者に対し開かれた運営が行われていると評価できます。
- ・施設の管理運営を安定的に行ううえで、十分な財務状況と判断しています。